

A グループ

コンセプト:

50年100年後も生き残る
3期で済ませる施設

[再配置のかたち]

・南部図書館を

西口に移転

・南部勤労青少年H
などな統合に理由地
を改装→世代間
交流

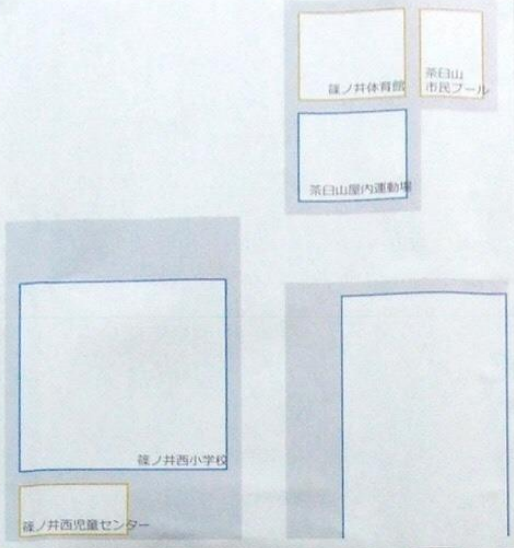
・老人福祉センター
授産所も南部勤労青少年
Hの位置に統合

・人権同和集会所
を西口中校へ

・又も緑地を整備する。
[自分たちにてできること]

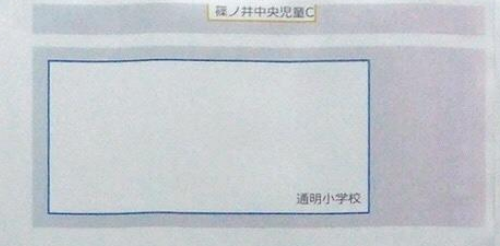
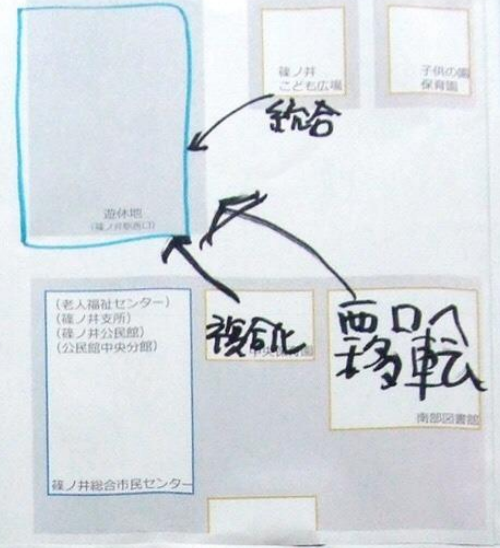
・これから建設に
向けて意見を言う。

・月1度くらいポラティフ
をやる。



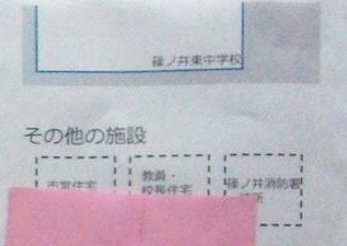
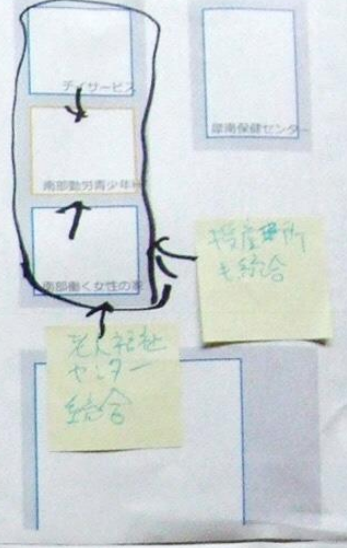
- ・複合化により
- ・世代間交流が活発になる
- ・商店街が活性化可能

効果



- ・西口移るとJRからアクセス
置う必要がある。
- ・ぐるりん号の運行で場外必要
がある。→おんぼで乗る
(パズルの発行)
- ・緑地整備の管理対策など

課題



その他の施設

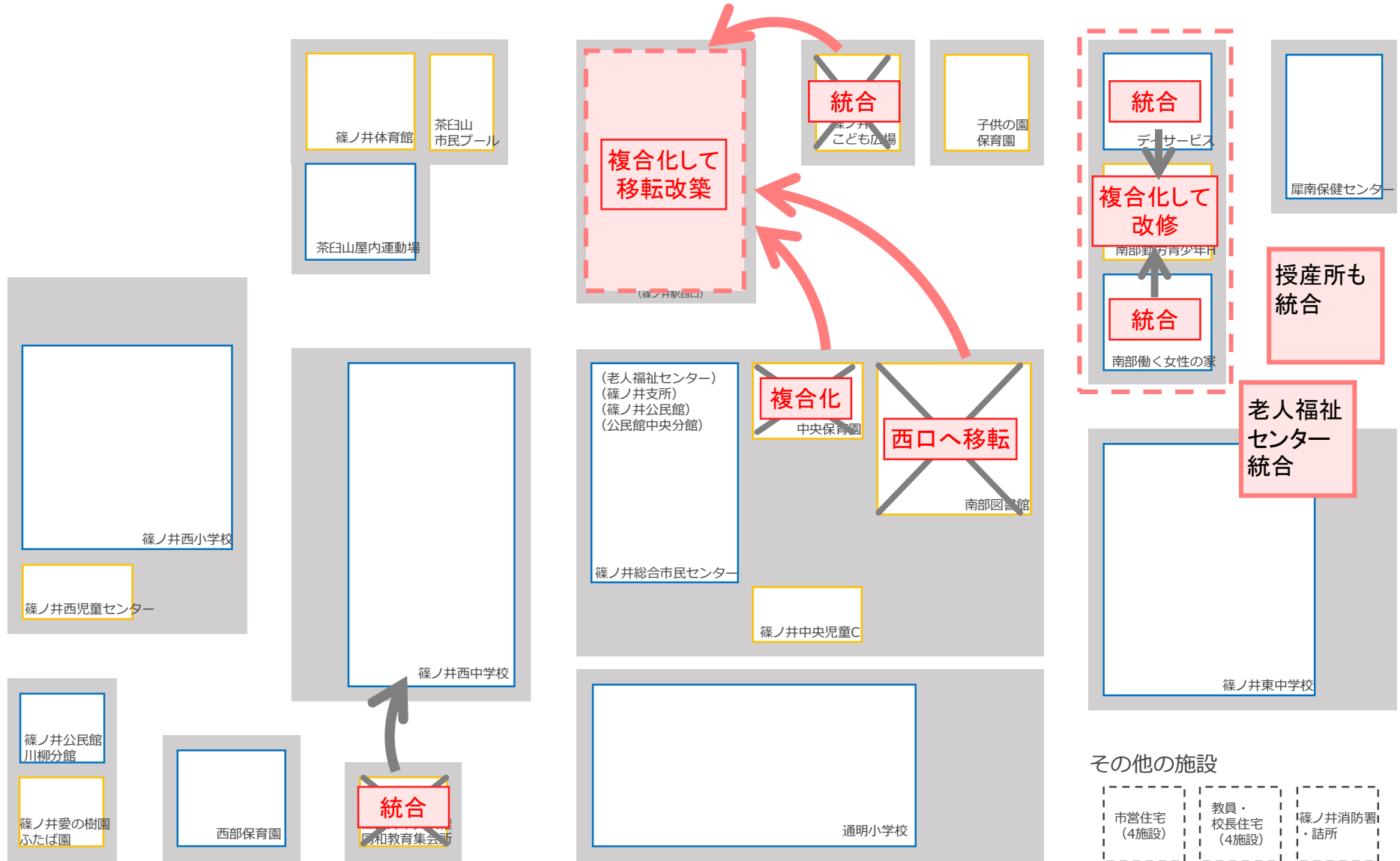
市営住宅 教員・緑ノ井消防署
給食センター 児童センター

最寄り駅は南陽駅(徒歩10分)で、西口は徒歩15分である。

1. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
2. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
3. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
4. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
5. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
6. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
7. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
8. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
9. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。
10. 駅の西口は、中野から大宮まで大宮線が通る。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。西口の駅は、大宮線の最寄り駅である。

2017年4月25日
緑ノ井駅前Cの再開発について考える。最寄り駅は南陽駅(徒歩10分)である。

Aグループ



コンセプト

50年100年後も生き生き活用できる施設

再配置のかたち

- 南部図書館を西口に移転
- 南部勤労青少年ホームなどは統合して現在地で改築→世代間交流に活用。
- 老人福祉センター、授産所も南部勤労青少年ホームの位置に統合する。
- 人権同和集会所を西中学校へ。移転後、改築後の施設には必ず緑地を整備する。

効果

- 複合化により世代間交流が活発になる。
- 商店街が活性化する。

課題

- 図書館の西口移転となると、JRの保有する空地を買収する必要がある。
- ぐるりん号の運航を増やす必要があり、乗車パス発行などの工夫をしてみんなが乗車する等の活性化策が必要。
- 緑地を整備すると管理が課題となる。

自分たちにできること

- これからも建設に向けて意見を言う。
- 月1度くらいはボランティアを実行する。

その他の意見

- 南部図書館の提案については別紙参照。

B グループ

コンセプト:

① 南部にも **核** になる
図書館を!

[再配置のかたち]

高校 100... 中央公園の中
エリアに7校あり 図書館、児童センター
集約する

アクセス
中央公園の中心部
市バス「道路」が
15分以内

中央公園は交通の便が
(駅前・道路沿いに
アクセス可能)

②' 図書館に
集約したものを

西口の遊休地

または、
篠井中央公園へ
もつていく。

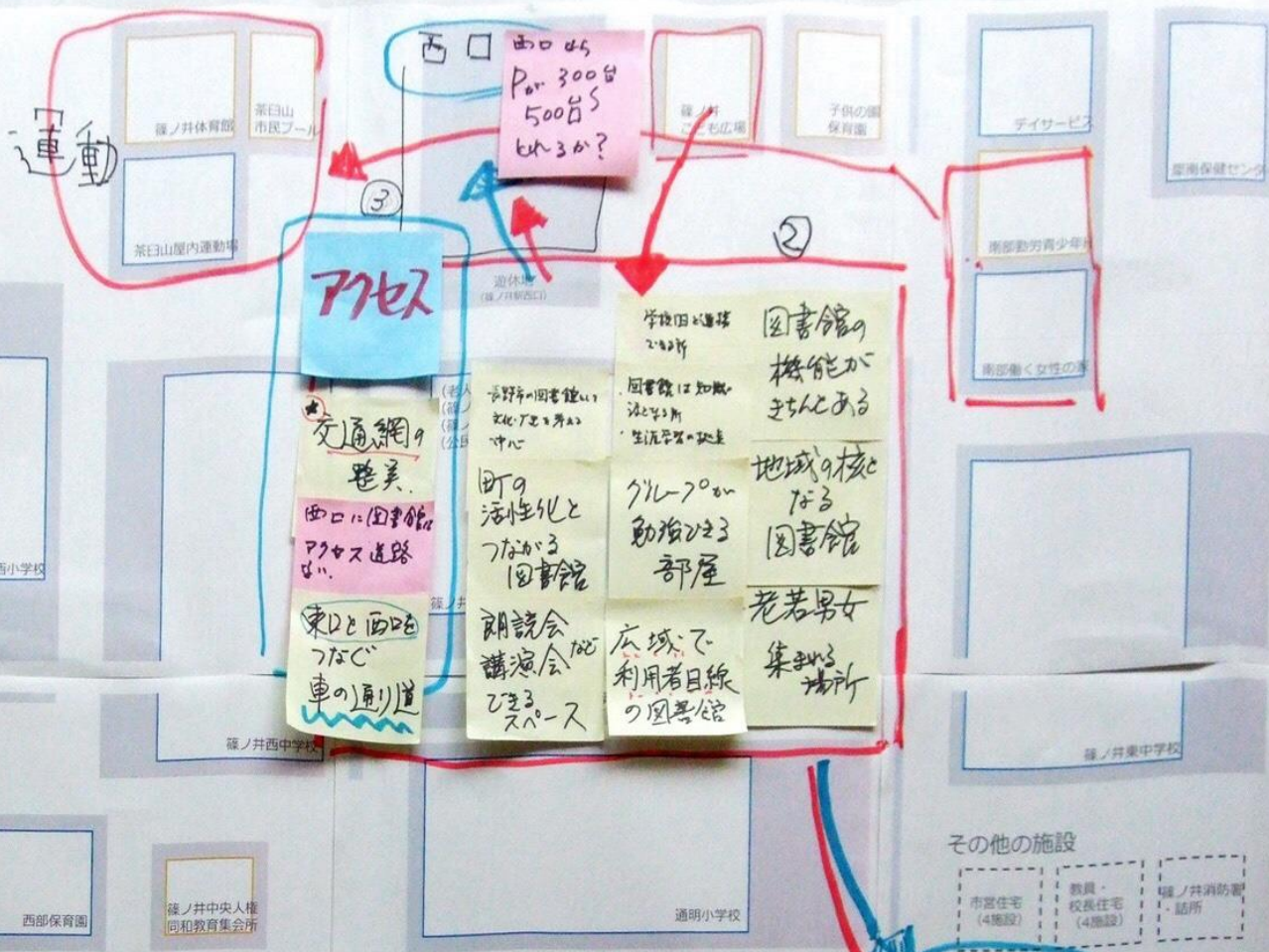
[自分たちができること] ⑤

- 今後企画される図書館や公民館、市民の公衆利用を考慮する
- 旧ボランティア (建築、イベント、研修会)

④ 効果

アクセスが良くなると、
交通の便がよくなり、
篠井の活性化につながる。

中央公園、便利がよい、
広い公園も利用、
病院も近い、
学校からも近い



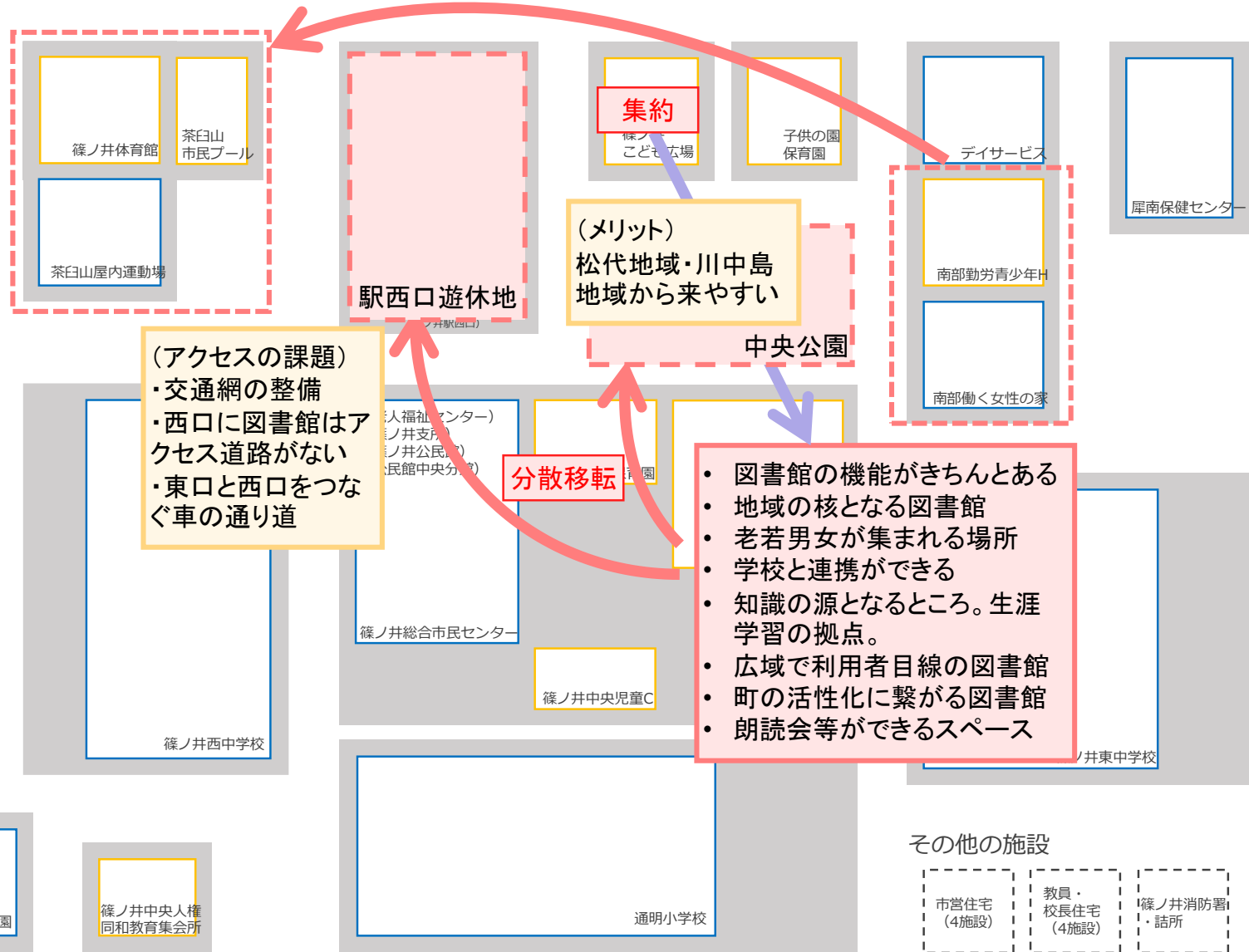
③ 課題

車口と西口とをむすぶ 交通網の整備
よって 課題の解決

⑥ 中央公園

中央公園から
松代、川中東
方面から
来やすい。

Bグループ



コンセプト

南部にも核となる図書館を！

再配置のかたち

- 南部図書館にこども広場を集約させ、新図書館は西口遊休地、中央公園に分散移転させる。
- 中央公園に図書館、子ども広場を設置する。

効 果

- アクセスが良くなると交通の便が良くなり、篠ノ井の活性化につながる。
- 中央公園は便利で、病院や学校が近い。

課 題

- 東口と西口を結ぶ交通網の整備が課題。アクセスの改善（車の通り道等）が必要。

自分たちにできること

- 図書館づくりの検討会等の公募委員として参加する。
- ボランティア（配架、読み聞かせ、朗読会等）

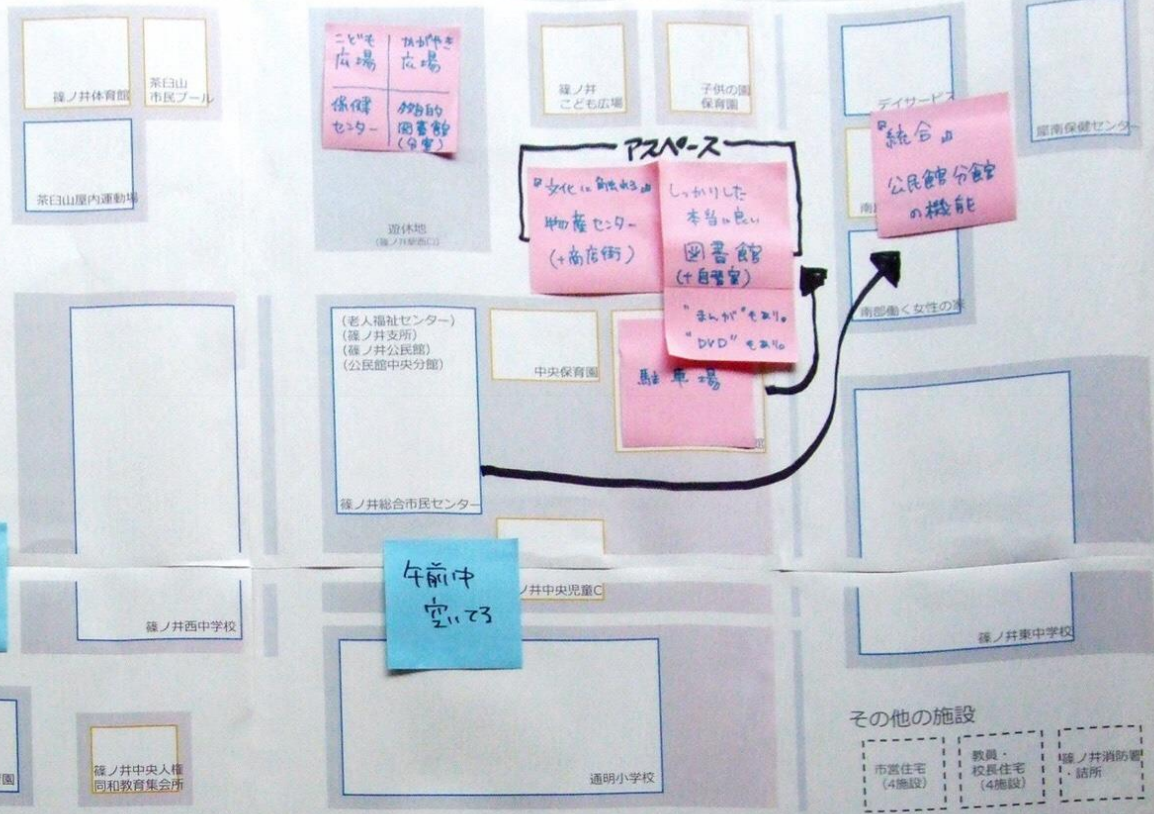
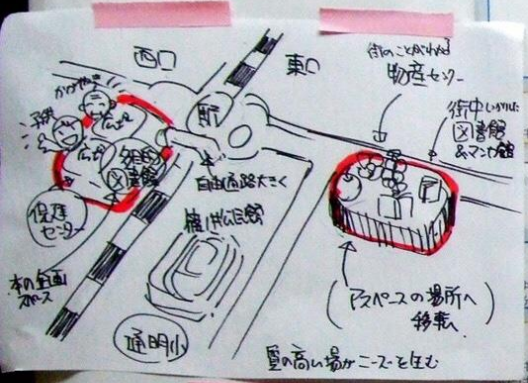
その他の意見

- 図書館を核とした街づくり、活性化策を検討。
- 中央公園という広いスペースがあり、アクセスも良いため有効活用をする。
- 西口を活用するのであれば交通アクセスが大きな課題となる。

C グループ

コンセプト:

文化に寄りそうまち
多世代
ニーズに合わせた住みまち
安全安心
暮らしのまち



アパース
 文化に寄りそう
 物産センター (+商店街)
 しっかりした本格的な図書館 (+自習室)
 "私が"をとり、"DVD"をとり
 馬車場

午前中
空いてる

午前中
空いてる

[自分たちができること]

行政にうたえかける
話し合う機会をつくる

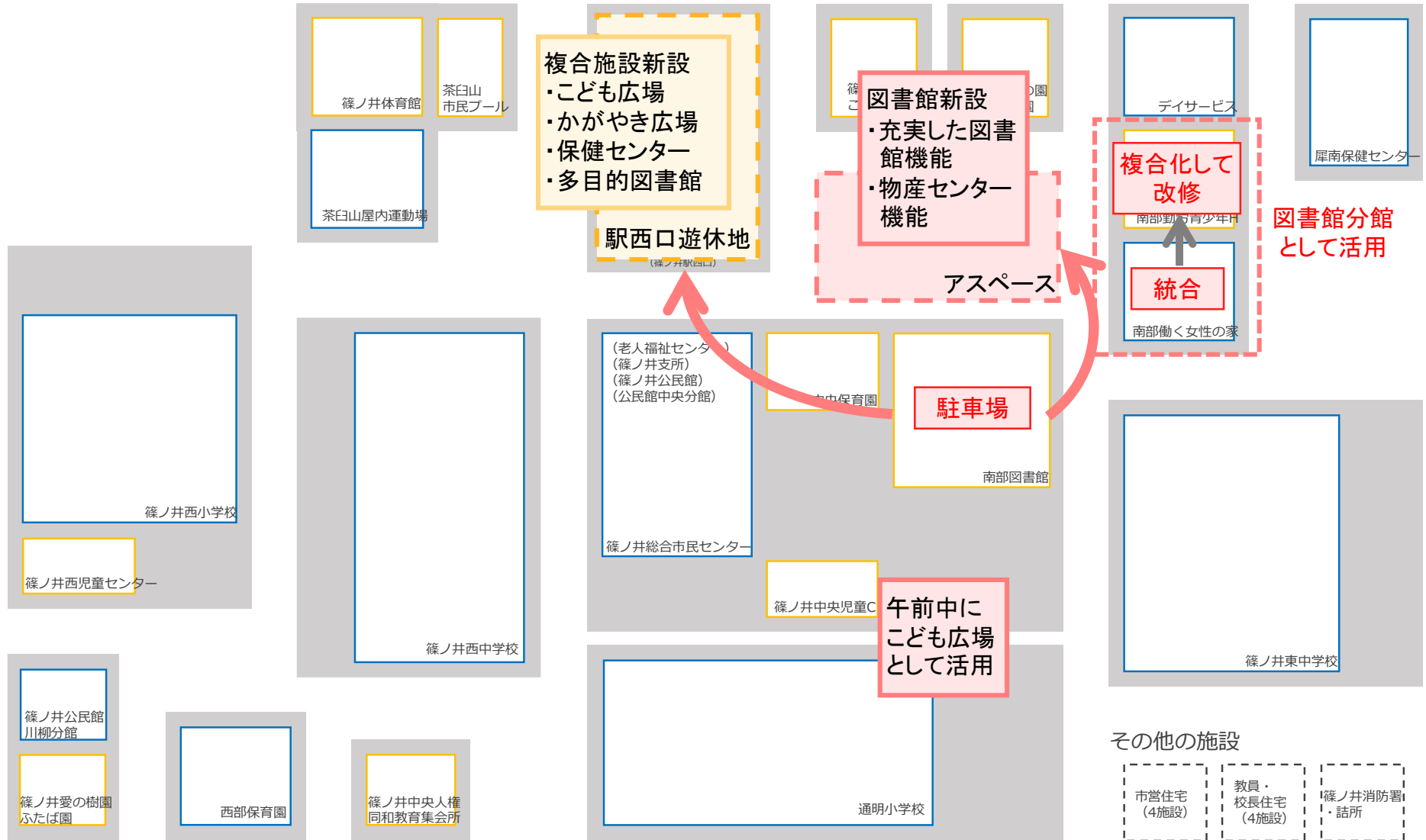
効果

高層が見えたら
住民のニーズ
↓
魅力のある施設

課題

馬車場の1台改修のアパースが
小まわりの活用
公民館分館の活用
話し合いの場 (市民センター)
児童センターの活用
午前中空いている時
公民館分館の活用
長期滞在
そのための契約

Cグループ



コンセプト

多世代が安全・安心して暮らせるまち。文化に寄りそうまち。住みたくなるまち。

再配置のかたち

- 遊休地（篠ノ井駅西口）に保健センター機能、こども広場機能、かがやき広場機能、図書館の分室機能（企画展等ができる場所）を新築。
- 南部図書館は現在のアスペースがある敷地へ移転、充実した図書館機能、物産センター機能の複合施設、現在の南部図書館の敷地は駐車場とする。
- 篠ノ井中央児童センターの午前中をこども広場として活用。南部勤労青少年ホームと南部働く女性の家は複合化し、公民館の分館として活用。

効果

- 住民同士の顔が見えるまちになる。
- 住民のニーズに応える魅力のある施設になる。

課題

- なし

自分たちにできること

- 今後も継続して話し合う機会をつくる。行政に訴えかける。

その他の意見

- 施設をつくるからには長期間使えるものがいい。
- 公共で受け持てない機能は民間でやらないといけない、そのために住民同士の話し合いの場を設ける必要がある。
- 駐輪場の1台当たりのスペースが小さく、自転車に傷がついてしまうことがある。

Dグループ

コンセプト:

100年後にも「住んでみたい」街、篠ノ井。

赤ちゃんからお年寄りまで、学べる街

[再配置のかたち]

こども広場の機能を
新図書館に統合する。

南部図書館を廃止し
新保育園をつくる。

中央児童センターを

新保育園に複合化。

社会体育拠点



新図書館

災害拠点

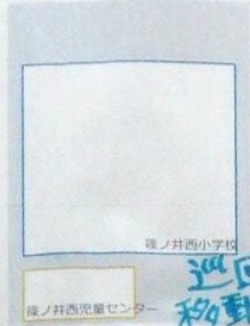


篠ノ井駅

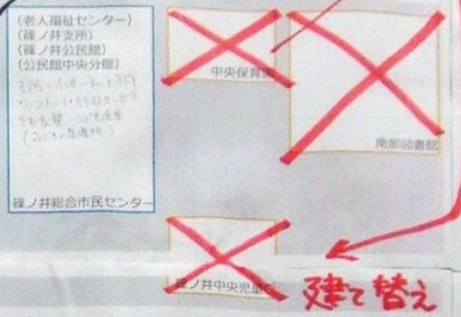
東西通路

集約

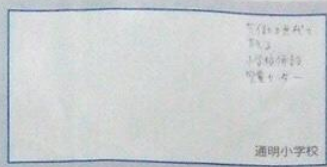
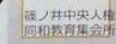
厚大
中央
Park



巡回
移動図書館



建て替え



[自分たちができること]

ワークショップに終りにせず

- ① 篠ノ井地区図書館をスワップ
 - ② 「南部図書館の未来 1万人アンケート」実施
- ⇒ 市民が図書館をつくり運営

効果

駅西口から南長野運動公園間で
教育・医療・福祉・スポーツ文化など
用が足りるコンパクトシティが実現

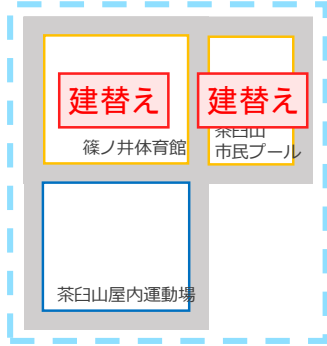
「100年後も住みたいまちになる」

課題

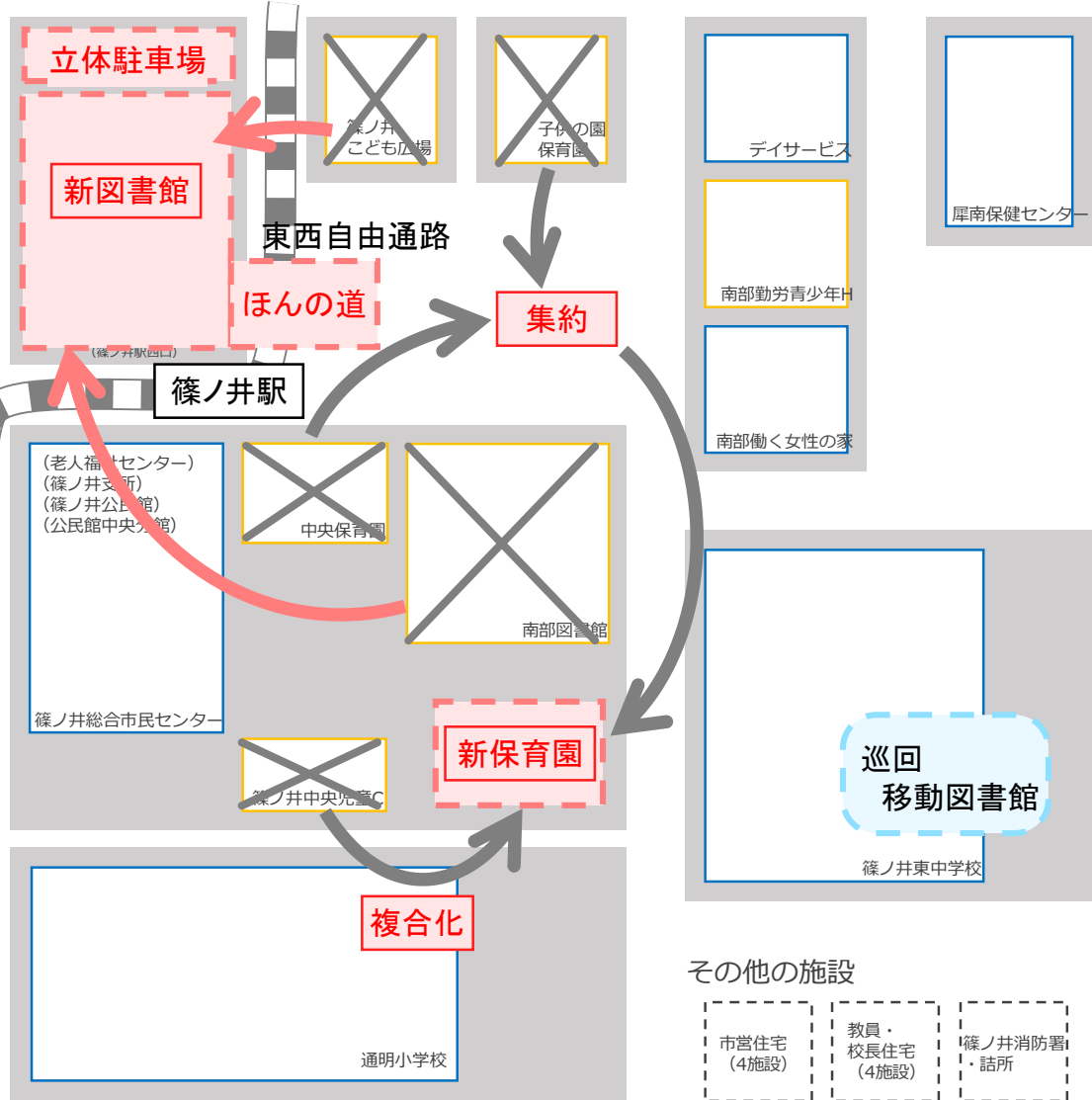
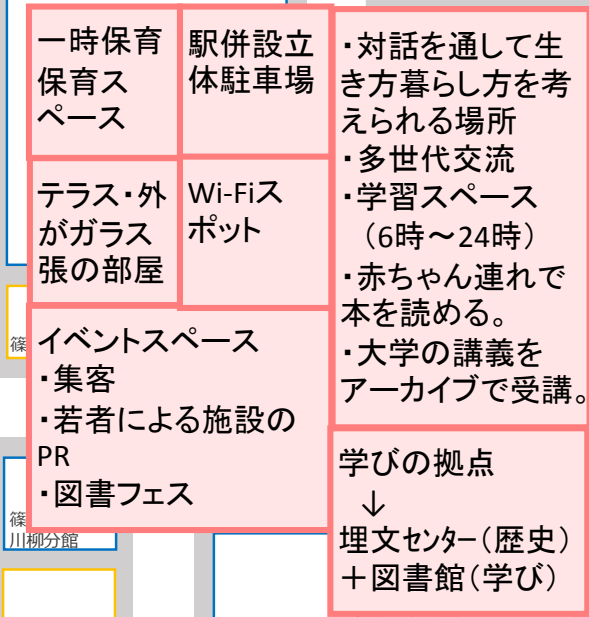
東口商店街の再開発も必要
東口は日常生活のニーズをみだせる場所

Dグループ

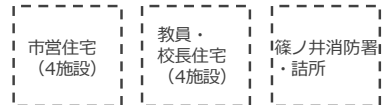
社会体育拠点
災害拠点



図書館に集約したい機能



その他の施設



コンセプト

100年後にも「住んでみたい」街、篠ノ井。
～赤ちゃんからお年寄りまで学べる街～

再配置のかたち

- こども広場の機能を、新図書館に統合する。
- 南部図書館を廃止し、新保育園をつくる。「こどもの国保育園」と「中央保育園」を統合。そこに「児童センター」を加える。
- 東西自由通路に本のみちを作る。

効 果

- 駅西口から南長野運動公園間で、教育・医療・福祉・スポーツ・文化など、用が足りるコンパクトシティが実現。「100年後も住みたいまち」になる。

課 題

- 東口商店街の再開発も必要。
- 東口は日常生活のニーズを満たせる場所に。

自分たちにできること

- ワークショップで終わりにせず、篠ノ井地区「図書館フェスティバル」「南部図書館の未来1万人アンケート」の実施。
→市民が図書館をつくり運営する。

その他の意見

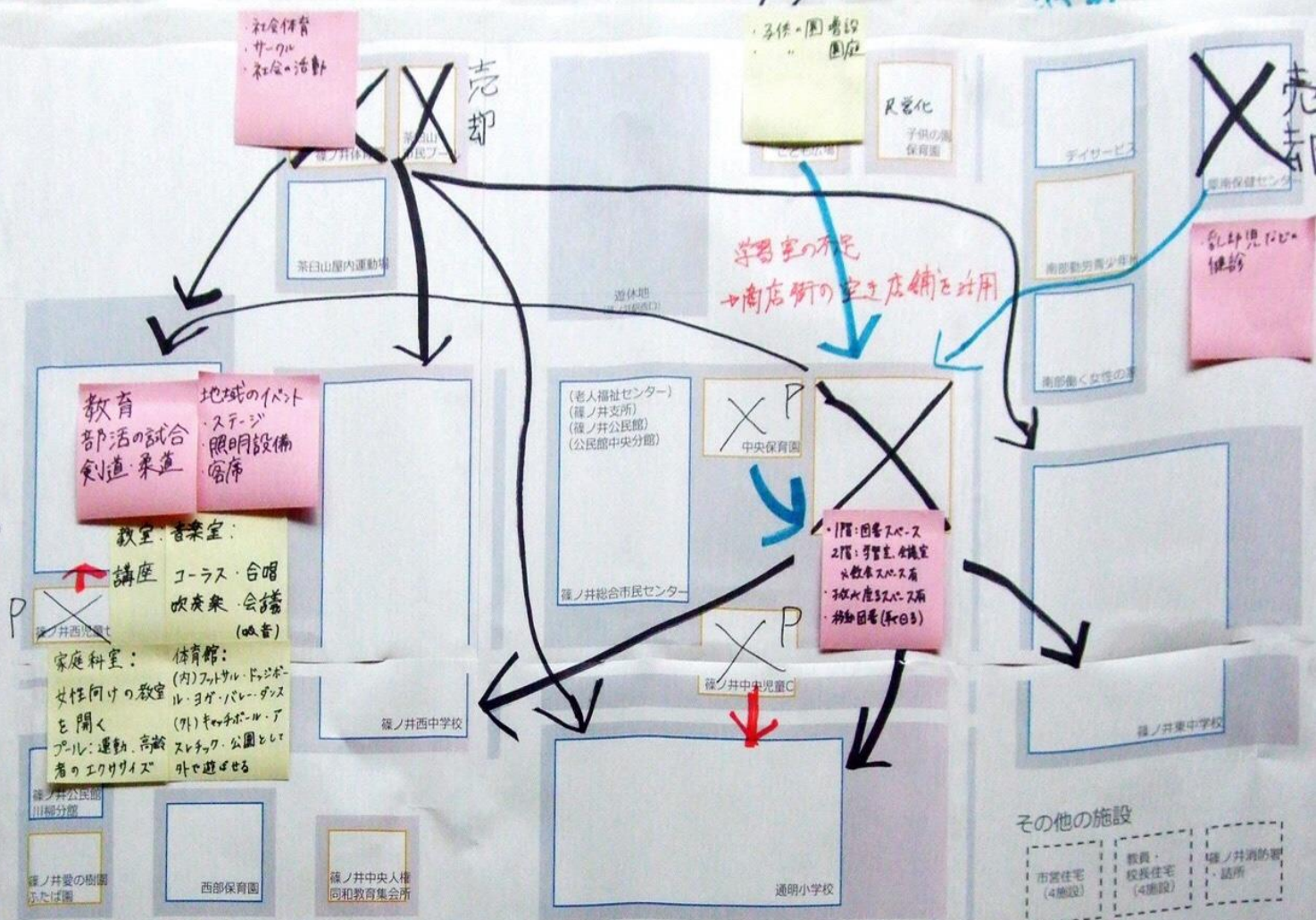
- 「駅に近く、広い場所」というのが、西口の遊休地しかないため、場所を西口に設定。
- まず、西口の遊休地を整備→現図書館に保育園を整備。

E グループ

コンセプト:
低コストで世代間交流
が出来る

[再配置のかたち]

- 南部図書館の図書スペース、学習室、会議室を小中学校へ分配
- 児童センターの機能は小学校へ
- こども広場、中央体育国庫南保健センターをまとめて、今、南部図書館がある場所に移動
- 篠ノ井体育館でしていたこと、学校ごとできるようにする



[自分たちができること]

- 看板、貼り紙を作る
- 学生ボランティア

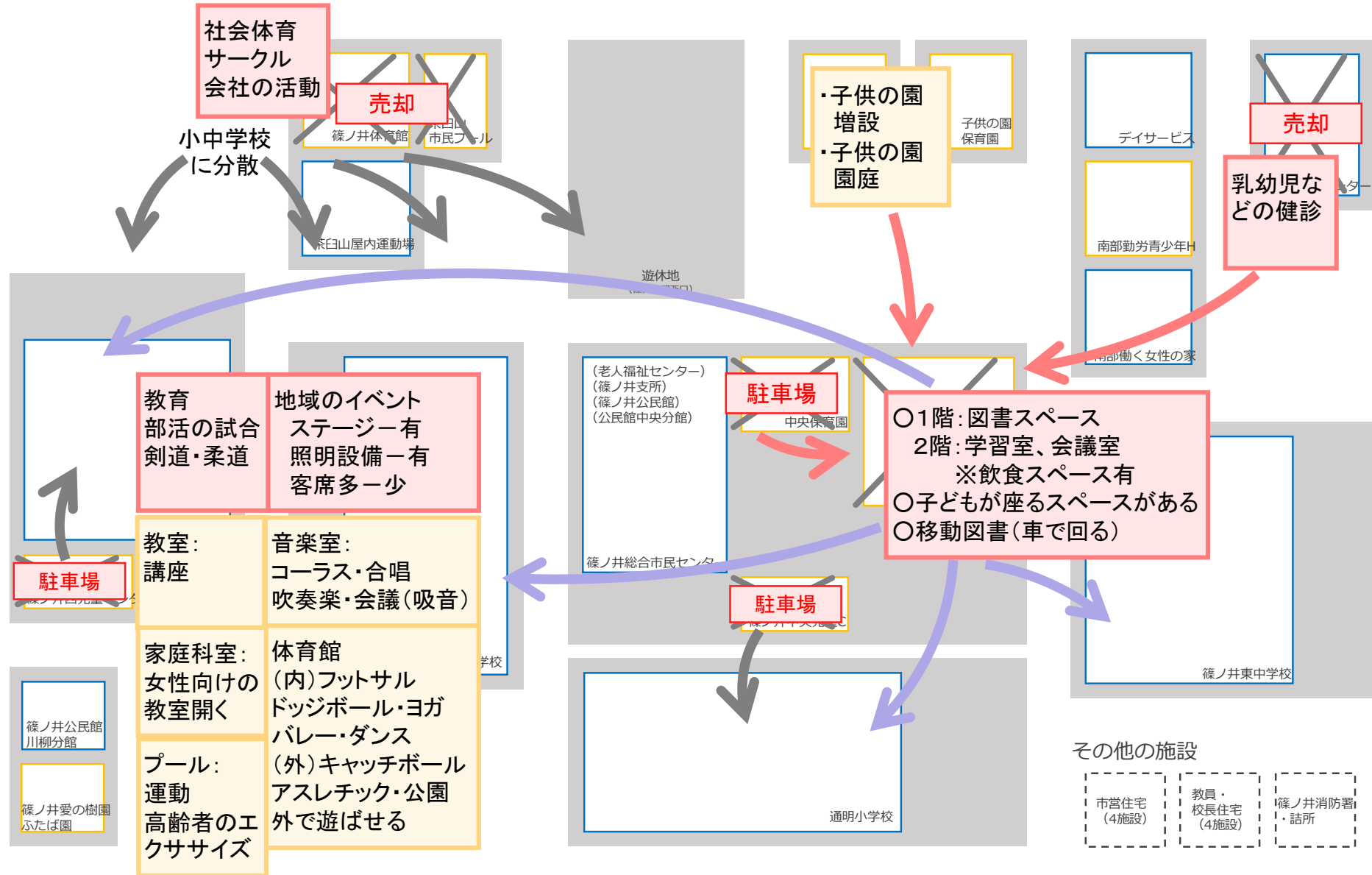
効果

- 徒歩で歩ける範囲で色々な事が出来る。
- 移動図書館のシステムをしまり作る事で子供から高齢者まで使いやすく → 将来性がある

課題

- 学校のセキュリティ
- 駐車場の確保
- 学習室の不足

Eグループ



コンセプト

低コストで世代間交流ができる

再配置のかたち

- 南部図書館の図書スペース、学習室、会議室を小・中学校へ分配する
- 児童センター機能は小学校へ統合する。
- こども広場、中央保育園、犀南保健センターをまとめて、いま南部図書館がある場所に移動する。
- 篠ノ井体育館でしたいことを学校でできるようにする。

効果

- 徒歩で歩ける範囲でいろいろなことができる。
- 移動図書館のシステムをしっかりと作ることによって子供から高齢者まで使いやすく。→将来性がある。

課題

- 学校のセキュリティ
- 駐車場の確保
- 学習室の不足

自分たちにできること

- 看板・貼り紙を作る
- 学生ボランティア

その他の意見

- 学生は車での移動ができないことから、徒歩での移動を前提に案を考えた。
- いまある施設をうまく使うことで、低コストで多世代の世代間交流ができるような施設づくりを考えた。